



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます



# JAHISデータ互換性実証実験2019 説明資料(共通情報編)

JAHISデータ互換性専門委員会

2019/8/2

(2019/9/12 変更版)

## 1. 日程及び会場

- 日程: 2019年10月7日(月)～10月11日(金)
- 会場: 横浜産貿ホール マリネリア(IHE-Jコネクタソン2019会場)

## 2. 実施予定テーマ

2019年9月公開の適用ガイドラインVer.3.0にもとづく実験

- 患者情報
- 処方情報
- 注射情報

## 3. 参加予定会社

全6社(富士通・NEC・日立・IBM・SSI・三栄)

## 4. その他

- 本実験に掛かる作業等費用(作業費・旅費・機器費用等)は参加各社負担
- 各社がコネクタソンに参加することを前提とし, 本実験の参加費は徴収しない
- 本実験専用のメーリングリストを開設し, 連絡事項やQA等を行う予定

## 5. 今年度の主なトピックス

### I. 患者情報

- 適用ガイドラインVer.3.0にもとづく実験

### II. 処方情報

- 適用ガイドラインVer.3.0にもとづく実験
  - あらたに定めた基本データセット項目にもとづく実施情報(処方)のデータ交換
  - オータ実施中止時の取り扱い確認

### III. 注射情報

- 適用ガイドラインVer.3.0にもとづく実験
- 課題の洗い出しを目的に、基本的なデータ交換を中心とした実験

### IV. その他

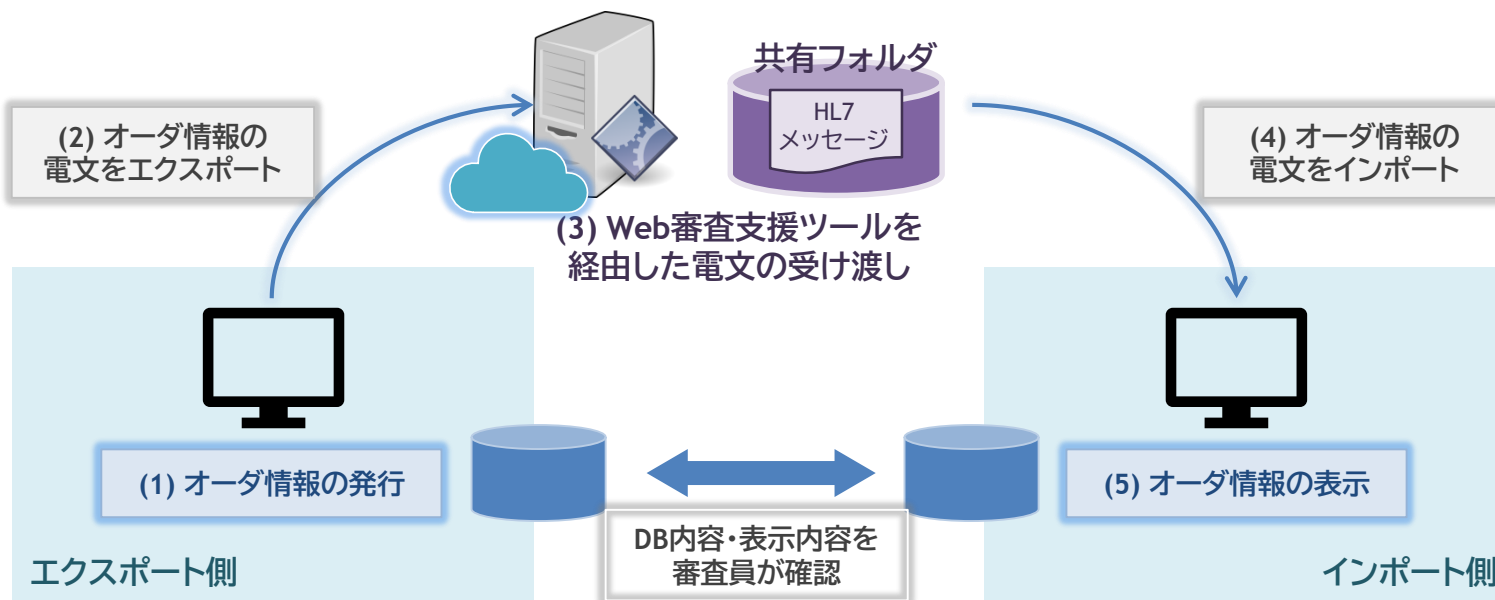
- 審査支援ツールのクラウド化

各社にて参加可否を検討していただき、検討結果をもとに実施テーマを最終決定します

	患者情報	処方情報	注射情報
富士通(株)			
日本電気(株)			
(株)日立製作所			
日本アイ・ビー・エム(株)			
(株)ソフトウェア・サービス			
三栄メディシス(株)			

実験テーマ毎に実験シナリオを決定し、実験シナリオに沿ってデータのエクスポート・インポートを実施する。

## (1)実験概念図



### エクスポート側:

シナリオに沿ってエクスポートした電文ファイルをWeb審査支援ツールを使用して共有サーバの共有フォルダにアップロードする

### インポート側:

同様にしてダウンロードした電文ファイルをインポートし、DB内容、表示内容を確認する。

## (2) 判定方法

- 各テストの合否判定
  - 審査支援ツールを使用した審査員による目視(電文、画面、ログ)判定(審査員は各社から最低1名参加し、自社以外の審査を担当する)
- システムとしての合否判定
  - 最低3社との相互接続完了で合格(参加会社が少ない場合は2社も可。)

## (3) 実験結果の反映

実験中: Web審査支援ツールの画面にリアルタイムで掲示予定  
実験後: JAHISホームページ上に掲載予定

## (参考) JAHIS実証実験2018の結果

	患者情報	病名情報	検査結果 <検体検査>
富士通(株)	○	○	○
日本電気(株)	○	○	○
日本アイ・ピー・エム(株)	○	○	○
(株)ソフトウェア・サービス	○	○	○

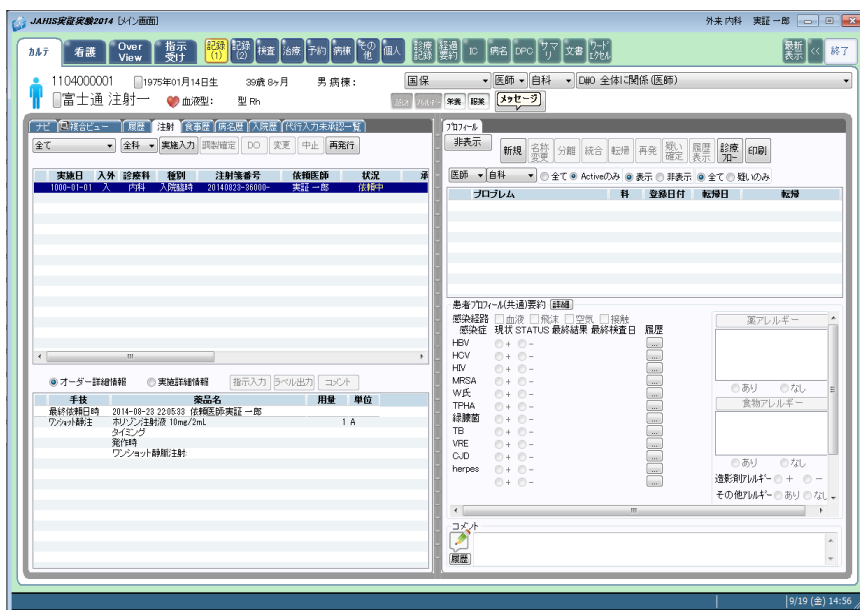
## (4) 成果物

エクスポート／インポート共にWeb審査支援ツールにて下記資料を提出

- ・2種類のログ(メッセージ・ログ、アプリケーション・ログ)
- ・自社システムの画面ハードコピー、データベースのダンプ内容

報告書は作成せず反省会で代替する

## 画面例



## メッセージ・ログの例

```
MSH|^~\&|ifProcHL7||RECEIVE||20080205163620.327||ADT^A28^ADT_ZA
1|20080205163620327|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-1994
ZVN||20080205163620||20004^実証^冬子^^^^^^L^^^^^|^ハジッショウ^フ
ユコ^^^^^^L^^^^^P|20070130160934|^1310335068010060^KC16
PID||1301001^^^PI||IBM^患一郎^^^L^|^アイビーエム^カンイチロウ
^^^^L^P||19650415|M||^1038510^^H^東京都中央区日本橋箱崎町19
-21|13|^PRN^PH^^^^^^^^03-3808-4402-^EMR^PH^^^^^^^^03-3808-
4447|^WPN^PH^^^^^^^^03-3808-
4421||||||||||||||N||20070130160934|^1310335068010060^KC16
...
```

## アプリケーション・ログの例

02/07 13:30:48 D (C)受信したメッセージの解析結果を  
E:\ycisv300.std9¥bin¥log¥02-1.基本情報-20080207133048-msg.rcv.txt に保  
存します...

02/07 13:30:48 I ZVNセグメントを解析しています...

02/07 13:30:48 I PIDセグメントを解析しています...

02/07 13:30:48 I NK1セグメントを解析しています...

02/07 13:30:48 I 解析結果は以下の通りです

02/07 13:30:48 D [基本] 患者ID=/1501001/  
02/07 13:30:48 D 患者氏名(漢字)=/SSI 患者基本/  
...

## (1) 参照する技術情報(優先順位の高い順)

1. JAHIS基本データセット適用ガイドライン Ver.3.0  
<https://www.jahis.jp/standard/detail/id=683>
2. JAHIS標準
  - 1) JAHIS処方データ交換規約Ver3.0C  
<https://www.jahis.jp/standard/detail/id=564>
  - 2) JAHIS注射データ交換規約Ver.2.1C  
<https://www.jahis.jp/standard/detail/id=590>
  - 3) JAHISデータ交換規約(共通編)Ver.1.1  
<https://www.jahis.jp/standard/detail/id=125>
3. HL7 V2.5 (アクセスキーでの認証あり)  
<http://www.hl7.jp/>



## (2) 主な注意点

1)インポート審査でエクスポート審査の間違いが見つかった場合の対応は以下の通りとする

- i. 審査員ないし審査対象会社が専門委員長に内容を連絡する
- ii. 専門委員長はテーマ担当者と協議の上、以下の要領で対応方法を決定する

- A) HL7規約や参照しているJAHIS標準類の規定、実証実験での取り決めを満たしていない
- B) シナリオの目的を達していない(各テーマで基準を明確化する)
- C) 事前に提出したポリシー、データ一覧通りの出力となっていない
- D) 他のベンダーのインポートを不当に難しくしている

A) ~ D) いずれかに合致する場合、エクスポート審査をやり直す

A), B) いずれかに合致する場合、インポート審査を無効とし、インポート審査からやり直す

## (2) 主な注意点

- 2) 標準規約、標準マスター以外のCS名はローカル・コードを含め99Zzz形式とする。
  - －使用する共通コードのCS名をテーマごとに事前指定。
  - －ローカル・コード用のCS名は各社で任意に指定する。  
ただし、99Zzz形式でかつ共通コード用のCS名とかぶらないこと。
  - －ローカル・コードのみの出力はNG
  
- 3) 処方・注射における日本HL7協会の適合性認定指摘事項に倣い以下とする
  - －ORC-18(入力装置)にコーディング・システム名を出力する
  
- 4) コード変換する場合、ローカル・コードと標準コードの対応表を別途提出する。  
(ポリシー値は○)

## (2) 主な注意点

- 5) 備考欄への記載要件は昨年と同様とする。
- －コメントを含むすべての項目でカタカナ、記号の全角、半角の違いは問わない。(ポリシー値は○)
  - －日付(和暦を除く)、時刻、郵便番号、電話番号のフォーマットの違いは問わない。(ポリシー値は○)
  - －予定時刻の秒の有無や違いは問わない。(ポリシー値は○)
  - －名称をマスターから取得して出力／取り込む／表示する場合は備考欄への記載は不要とする。(ポリシー値は▲)
- 6) 最大長審査を今年もオプションテーマとして用意する。
- －「最大長」というダミー会社のメッセージをインポートする。
  - －インポート時にデータが長すぎてそのまま取り込めない場合はエラーリストに出力する(形式は任意だが以下の情報を出力できること)
    - 1) エラー発生日時
    - 2) エラー発生個所のメッセージファイル名と行番号
    - 3) 同じくセグメント名、フィールド番号、成分番号、副成分番号(もしあれば)
    - 4) エラーの内容(コード化することが望ましい)
    - 5) エラーの原因となったデータの値
  - －コメントなど可変長のフィールドのみを審査の対象とする。

## (2) 主な注意点

7) 必須フィールドにセットする値がない場合は、代わりに「””」をセットする。

### 8) その他

- － エクスポート審査時の比較対象は画面ではなくDB内のデータとする。
- － DBの内容を出力するスクリプトの準備を求める。
- － 機種依存文字(①、②など)は出力しないこと。

## (2) 主な注意点

### 9) リモート拠点から参加する場合の注意点

- **今年はトライアル扱いとし、患者情報テーマに限定します。**
- エクスポート審査およびインポート審査でDBダンプおよび画面確認のプロセスがあります。Skype for Businessの会議を用意しますので、Skype経由での画面共有およびチャットにもとづきコミュニケーションください。
- 会議等で不在の時間があったり、業務都合で審査中断が必要だったりする場合があります。事前にわかっている場合は、画面確認が必要となる審査の申請時に申し出てください。
- 会場に在席している場合と比べてコミュニケーションが取りづらくなります。昨年までの審査と比べ時間がかかりうる点ご了承ください。
- Skype会議不調時に備え、リモート拠点への連絡手段/方法を専門委員長へご連絡ください。
- 審査員はお手数ですが会場への在席をお願いします。

## (3) 患者IDの命名規則、桁数

××△△ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊

- 桁数:10桁
- 命名規則
  - ××: 会社ごとに割り振る一意な番号(参加会社で一意)
  - △△: テーマごとに割り振る一意な番号
  - ＊＊＊＊＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ : 任意の数字
  - ※××△△は以下の通り

会社ID (上2桁)	会社名	患者情報 (テーマ01)	処方情報 (テーマ03)	注射情報 (テーマ04)
11	富士通(株)	1101*****	1103*****	1104*****
12	日本電気(株)	1201*****	1203*****	1204*****
13	日本アイ・ビー・エム(株)	1301*****	1303*****	1304*****
14	(株)日立製作所	1401*****	1403*****	1404*****
15	(株)ソフトウェア・サービス	1501*****	1503*****	1504*****
18	三栄メディシス(株)	1801*****	1803*****	1804*****

## (4)使用する共通マスター 利用者マスター

利用者ID	漢字氏名	カナ氏名	職種
10001	実証 一郎	ジッショウ イチロウ	医師
10002	実証 二郎	ジッショウ シロウ	医師
10003	実証 三郎	ジッショウ サプロウ	医師
10004	実証 四郎	ジッショウ シロウ	医師
10005	実証 五郎	ジッショウゴロウ	医師
20001	実証 春子	ジッショウ ハルコ	看護師
20002	実証 夏子	ジッショウ ナツコ	看護師
20003	実証 秋子	ジッショウ アキコ	看護師
20004	実証 冬子	ジッショウ フユコ	看護師
30001	技師 雪子	ギシ ユキコ	検査技師
30002	技師 月野	ギシ ツキノ	検査技師
30003	技師 風太	ギシ フウタ	検査技師
30004	技師 花子	ギシ ハナコ	検査技師

### 病棟

病棟コード	病棟名
031	3 A
032	3 B
041	4 A
042	4 B

### ベッド(各病室共通)

ベッドコード	ベッド名
1	1
2	2
3	3
4	4

### 病室(各病棟共通)

病室コード	病室名
01	0 1
02	0 2
03	0 3
04	0 4
05	0 5

## 診療科(CS名:99Z01)

診療科CD	診療科名	診療科CD	診療科名
01	内科	21	性病科
02	精神科	22	こう門科
03	神経科	23	産婦人科
04	神経内科	24	産科
05	呼吸器科	25	婦人科
06	消化器科	26	眼科
07	胃腸科	27	耳鼻いんこう科
08	循環器科	28	気管食道科
09	小児科	29	理学診療科
10	外科	30	放射線科
11	整形外科	31	麻酔科
12	形成外科	32	人工透析科
13	美容外科	33	心療内科
14	脳神経外科	34	アレルギー
15	呼吸器外科	35	リウマチ
16	心臓血管外科	36	リハビリ
17	小児外科		
18	皮膚泌尿器科		
19	皮膚科		
20	泌尿器科		

## (5) エクスポートファイルのファイル命名規則

<会社ID><会社英名>\_<テーマID>\_<シナリオNo>\_<データ内容>.hl7

※会社ID,会社英名は以下の通り

会社ID (上2桁XX)	参加会社名	英名
11	富士通(株)	fujitsu
12	日本電気(株)	nec
13	日本アイ・ピー・エム(株)	ibm
14	(株)日立製作所	hitachi
15	(株)ソフトウェアサービス	softs
18	三栄メディシス(株)	sanei

※テーマIDは以下の通り

テーマID	テーマ名
テーマ01	患者情報
テーマ03	処方情報(指示/実施)
テーマ04	注射情報(指示/実施)

※シナリオNoは、「シナリオ1」「シナリオ2」「シナリオ3」「シナリオ4」のいずれか

※データ内容は、以下の通り

データID	データ内容
患者	患者情報
処方	オーダー情報(処方)/実施情報(処方)
注射	オーダー情報(注射)/実施情報(注射)

※アップロード時はWeb審査支援ツールがこの命名規則に沿って自動的にリネームするので、手元のファイルの名前は気にしなくてよい。

※例:IBMがオーダー情報(処方)のテーマのシナリオ3で出力した最新の患者情報の場合

「13ibm\_テーマ03\_シナリオ3\_患者.hl7」



## (1) 実証実験専用メーリングリストの利用方法

質問に合わせて表題を下記規則に従って記載

- ・ 共通情報編 → 【共通】
- ・ データの互換性 → 【テーマ名】
- ・ その他事務連絡 → 【その他】

## (2) 実証実験に関する主なイベント(案)

7月31日(水) 説明資料読み合わせ

8月9日(金) ML登録ユーザー一覧提出(メール)

8月9日(金) 参加テーマ表明(メール)

8月上旬 実証実験用ML開設

8月30日(金) 事前検証ツールの配布

9月13日(金) ポリシー、データ一覧の事前提出期限

9月27日(金) 事前審査結果の個別フィードバック

10月2日(水) 審査員担当予定表の提出

10月7日~10月11日

実証実験本番

10月下旬 反省会(データ互換性専門委員会にて)

12月 JAHISホームページへの結果掲載

## (3) 参加会社への依頼事項

1. ML登録ユーザー一覧の提出(\*) (8月9日)
  2. 参加テーマの表明 (8月9日までにメールで)
  3. 以下の情報の事前提出 (9月13日) → ポリシー等配布を8月中旬に実施。
    - エクスポート・ポリシー、インポート・ポリシー (「ポリシー一覧」シート × テーマ数)
    - エクスポート・データ一覧 (「データ一覧」シート × シナリオ数)
    - 標準コード、ローカルコード間変換表
  4. 審査員担当予定表の提出 (10月2日)
  5. 個別フィードバックへの対応 (実証実験当日まで)
  6. 審査用 Note PC の持参 (実証実験当日)
    - 無線LAN対応推奨
    - Microsoft Office が導入されていること (2013以上を推奨)
  7. 反省会への積極的な参加 (11月上旬)
- ※ 会社単位でメールにて専門委員長 ([keita.yamaguchi.qj@hitachi.com](mailto:keita.yamaguchi.qj@hitachi.com)) まで送付ください。

## (4) 作業場所、電源、IPアドレスなど

在席参加の方は、IHE-Jコネクタソン用に各社で確保したもののなかでまかなう。  
実験用機器および審査用PCのIPアドレスは業務用として余分に申請する。



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

ご清聴ありがとうございました

